

分野	授業科目	単位（時間）	開講年次	講師名
専門分野	成人看護学援助論 I （急性期看護・ 周術期看護）	1（30）	2年前期	金子 裕美 外部講師 （実務経験あり）
科目目標	生命の危機的状況にある成人期の対象を理解し、看護の役割と援助の方法を学ぶ。 周手術期にある患者の特徴を理解し、経過に応じた看護過程の展開方法を学ぶ。			
授業内容		時間	教育方法	担当者
	1. 周術期にある患者の看護 1) 周術期看護とは ・手術の動向 ・周術期医療の倫理 ・患者心理（フィンク危機モデル、ストレス コーピング） ・手術・麻酔侵襲  2) 周術期にある人への看護 ①手術前期の看護（術前検査の目的、 手術オリエンテーション、 術前のアセスメント、不安への援助、 前日の看護、当日の看護） ②手術期の看護（麻酔導入・覚醒時の援助、 手術体位と看護上の注意点） ③手術後期の看護（術直後のモニタリング、 苦痛緩和への援助、術後合併症と看護、 早期離床への援助など）	8	講義	金子
	2. 周術期の看護過程 事例演習 幽門側胃切除術を受ける患者の看護： 術前～術中～術後看護（アセスメント～ 問題抽出 標準看護計画立案まで）  *呼吸リハビリテーション 呼吸リハビリテーションの理解、援助方法 （演習含む）	16	講義 グループ ワーク	金子
	3. 試験・まとめ	4	講義 演習	外部 講師
テキスト/参 考書/視聴覚 /その他の教 材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統看護学講座 成人看護学(5) 消化器（医学書院）</li> <li>・高齢者と成人の周手術期看護 術中・術後の生体反応と急性期看護（医歯薬出版株式会社）</li> <li>・看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践（ヌーベルヒロカワ）など</li> </ul> 必要時プリント配布、ビデオ、パワーポイントなど使用			
成績評価の 方法	筆記試験・レポート・看護過程演習記録(100点) ※授業態度などにより総合的に評価する。			
備考				